

学年	高校1年	教科	国語	科目	言語文化	単位数	2
教科書名	高等学校 言語文化 (数研出版)			副教材名	読んで見て覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新精選 古典文法(東京書籍) 精説 漢文 改訂版(いいずな書店)		
コース・クラス	スポーツ・芸能						

I. 目標

古典としての古文と漢文を読む能力を身に付けることを通して、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典について深く理解し関心を持つ。

II. 授業のねらい

古典に表れているさまざまなものの見方、感じ方、考え方を、古典についての解説や随筆なども参考にしながら、的確に読み取る。これを通して、思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育むことにより、人間としての資質の形成をねらいとする。本文内容の正確な理解、作品の背景、漢詩漢文が日本に与えた影響などを学習する。

III. 授業の進め方

- 1 文法理解、文章内容の読解を主とし、ICT 授業を展開し学習を進める。
- 2 文法事項や表現技法は、副教材やプリントを用いながら学習していく。
- 3 ipad で辞書や Classi ノートを活用し、視覚的要素も利用しながら理解を深める。

IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として語句の意味調べや作品の通読を行うこと。
- 2 古語単語小テストの年間計画を確認し、事前に学習しておくこと。

V. 定期試験（状況によって変動する場合がある）

- ・一学期中間試験……用言の活用、『宇治拾遺物語』、漢文基礎知識、初見問題
- ・一学期期末試験……用言の活用、『枕草子』、漢文基礎知識、初見問題
- ・二学期中間試験……『徒然草』、『戦国策』、初見問題
- ・二学期期末試験……『伊勢物語』、『十八史略』、漢詩、初見問題
- ・学年末試験……『羅生門』『今昔物語集』、『論語』、初見問題

VI. 評価の方法

- 1 定期試験…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、用言の活用 ・係り結び ・『宇治拾遺物語』児のそら寝 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い・用言・係り結びを理解する。 ・主語をおさえながら内容を理解し、作品の面白さがどこにあるのか考える。 ・漢文の基礎知識(返り点・送り仮名・書き下し文・置き字・再読文字・返読文字)を理解する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・『精説 漢文』 2 返り点 		
	6	<ul style="list-style-type: none"> 3 送り仮名・書き下し文 4 置き字 5 再読文字 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> 6 返読文字 ・『枕草子』春はあけぼの 		
二学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・『徒然草』丹波に出雲といふ所あり 敬語 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞「き・けり・つ・ぬ・たり・り・ず」の知識が定着する。 ・古文における敬語について理解する。 ・漢文(否定・疑問・反語・詠嘆・使役・受身)を理解する。 ・和歌の修辞法、漢詩の基礎知識を理解する。 ・基礎学力到達度テストに向け、初見問題演習に取り組み、問題の解き方を習得する。
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・『精説 漢文』 ① 否定 ② 疑問・反語 ③ 詠嘆 ・『戦国策』漁夫之利 		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・初見問題演習 ・『伊勢物語』東下り 和歌の修辞法 ・『精説 漢文』 ④ 使役 ⑤ 受身 ⑫ 漢詩 		
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・『十八史略』先従隗始 ・漢詩(静夜思、月夜) ・初見問題演習 		
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・『羅生門』『今昔物語集』 ・古典事項 総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の相違点を考え、効果について考える。 ・助動詞「る・らる・す・さす・しむ・む・むず・べし・なり」の知識が定着する。 ・漢文(限定・累加・比較・選択・比況・仮定)を理解する。 ・中国思想について理解する。 ・学習した文法などの定着を確認する。 ・基礎学力到達度テストに向け、初見問題演習に取り組み、問題の解き方を習得する。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・『精説 漢文』 ⑥ 限定・累加 ⑦ 比較・選択・比況 ⑧ 仮定 ・『論語』 		
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・初見問題演習 		

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。